

第 52 回 東京都高圧ガス防災訓練実施報告

東京都と東京都高圧ガス地域防災協議会の主催による、令和 5 年度第 52 回東京都高圧ガス防災訓練は、10 月 26 日（木）13 時 30 分から 16 時 10 分までの予定で、東京都江東区平野四丁目の「都立木場公園多目的広場」で開催されました。澄み切った快晴のもとでの防災訓練でした。昨年度同様にフルバージョンでの開催となり、リハーサルを含む延べ参加者数は 651 人、参加事業所数は 254 でした。

【訓練会場】 都立木場公園 多目的広場



1. 開会式

開会式は 13 時 30 分から、東京都高圧ガス保安協会の古川 誠専務理事の開会の辞で始まりました。



開会式の模様



古川専務理事・開会の辞

開会式では主催者を代表して、東京都の栗岡 祥一環境局長から、開会の挨拶がありました。

【東京都環境局 栗岡祥一局長】

東京都環境局長の栗岡でございます。本日は、令和5年度東京都高圧ガス防災訓練にご参加いただきまして誠にありがとうございます。開催にあたりまして多大な御支援をいただきました警視庁深川警察署、東京消防庁深川消防署の皆様方に、心より感謝申し上げます。



また、公務ご多忙のなか東京都議会議員の細田先生、白戸先生、伊藤先生、関東東北産業保安監督部企画調整官の和田様、警視庁警備部災害対策課理事官の池田様、東京消防庁予防部長の加藤様をはじめ、多くの来賓の皆様へ、ご来場頂き厚く御礼申し上げます。

東京都高圧ガス地域防災協議会の皆様には、日頃より高圧ガスの保安行政へのご理解とご協力に加え、災害発生を想定した連絡出動態勢の整備、定期的な訓練など、都の災害対応に支援を頂き改めて感謝申し上げます。

さて、近年では毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。今年の5月には、石川県能登地方で発生した震度6強の地震や、一昨年には東日本大震災以来11年ぶりに都内で震度5強を観測するなど大規模な地震が発生しております。

また、急激な気候変動に伴い、ゲリラ豪雨や台風の巨大化により土砂災害や浸水被害が多発し、都民生活や企業の事業活動に大きな影響を与えています。こうした、大規模かつ想定外の災害が発生した際には、高圧ガス施設の被災や容器の破損、流出事故等につながる可能性もあり、迅速かつ的確な対応が求められます。

さらに自然災害だけではなく、高圧ガス関係の事故もここ数年高止まりの傾向が続いています。高圧ガスの爆発や火災等の事故は、場所や状況によっては深刻な被害につながる恐れがあります。事故等の発生を未然に防ぐことは言うまでもありませんが、万一、事故等が発生した場合でも、適切な対応を取り、最小限の被害に留めることが重要です。

本日の実践的な訓練を通じて、災害時や事故時の緊急対応能力を向上させるとともに、関係機関との更なる連携強化を図って頂きたいと思っております。年に一度の訓練ではありますが、都内450事業所の皆様と行政が協力して実施する訓練です。いつかは起こる、今起こるかもしれない災害に今回の訓練を通じ、日頃から備えることで、必ずや、迅速かつ適切な対応が可能になるものと考えています。

最後に、本日の訓練が事故なく、成功のうちに終了し、今後の高圧ガス防災対策に大きく寄与することを期待いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願い申し上げます。

次に東京都高圧ガス地域防災協議会鈴木 慶彦副会長の挨拶がありました。

【東京都高圧ガス地域防災協議会 鈴木 慶彦 副会長挨拶】

ご紹介いただきました地域防災協議会副会長の鈴木でございます。

本日は、令和5年度東京都高圧ガス防災訓練にご参加をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で、本日52回目の訓練を、ここ都立本場公園で実施できる運びとなりました。

この場所での開催は、平成30年度以来5回目となります。開催に際し、ご尽力いただきました警視庁深川警察署、東京消防庁深



川消防署及び東京都建設局東部公園緑地事務所様をはじめ関係機関の方々に、心より感謝申し上げます。

また、ご多忙中にもかかわらず、本日ご来賓としてご参加いただいております経済産業省関東東北産業保安監督部様並びに東京都議会議員の皆様には厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、本年5月に感染症法上の5類に移行後、様々な規制が緩和され、徐々にではありますが景気が回復基調にあり、また定点観測データでも感染者数は減少傾向にあると聞いています。こうした状況を踏まえ、今回の訓練は、ほぼ平年並みの規模で実施することができました。

一方、先程のご挨拶にもありましたように記録的な暑さ、線状降水帯等により集中豪雨、地震が、全国各地で災害が発生し、河川の氾濫、土砂崩れや断水・停電など、市民生活や産業活動にも甚大な影響が現れるケースが増えています。こうした極端な気象状況は国内だけではなく、全世界レベルで起きています。今後、地球的規模で進む温暖化の影響により、自然災害は、ますます頻発化、激甚化する可能性もあり、これに備えて高圧ガスについても一層の管理徹底が求められます。

については、高圧ガスの、厳格な容器管理、危害予防規程の確認など、日頃から災害に備えを行っていただくようお願いします。今申しあげました通り、自然災害が頻発し、また、冷凍設備からの冷媒の漏えい事故も多い昨今、皆様方には例年にも増して訓練を現実のものと捉え、緊張感をもって取り組んでいただきたいと思います。

本日の訓練によって、参加者の知識と技術の向上、事故の防止や被害の最小限化に向け、組織防災力が一層強化されることを期待しています。
皆様、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【細田いさむ 都議会議員】

ご紹介をいただきました、東京都議会議員の細田でございます。
本日は、東京都内各地から東京都高圧ガス防災訓練のために江東区木場公園にお越しいただきましてありがとうございます。5年前の第47回の大会の時も皆様方が、しっかりと日頃の成果を発揮されて、高圧ガス取り扱いにおいては、大変危険なところがあるこのような事例を目の当たりに見せていただきました。このような活動を毎年毎年続けて下さっている皆様方の防災意識に対するその取り組みは、本当に敬意を表するものでございます。

例えば、リチウムイオン電池等がごみ焼却炉に入って火災が起きる事故が問題になっておりますが、まさにそのようなことが無いように皆様方が、熟練した技術とともにこの訓練の場をかりて、決して欠くことができない高圧ガスをしっかりと取り扱っていただいていることに心から嬉しく思っております。

本日の訓練も日頃の成果を思い存分に発揮していただき大成功で終わることを心から祈っております。



【白戸 太郎 都議会議員】

ご紹介いただきました東京都議会議員の白戸 太郎です。
この木場公園でこうして高圧ガスの防災訓練ができることを大変嬉しく思っております。この訓練は、他の防災訓練と違っ



て非常に危険が伴います。簡単に訓練しようと言ってもできるものではない。我々皆さんも実際の現場を実際の場所でやることは難しい。だからこそ、こうした所で纏まってやること、出来ることが重要であると考えます。5年前もそうでしたが、実際にしてみるとそのスピード、迫力、そして怖さ、実感するものであります。是非、改めて今日は、そのようなことを実感できればと考えております。非常に便利で生活になくてはならないものですが、一つ間違えると大変なことになってしまうというのが、この高圧ガスでございます。だからこそ正しい知識、対処の方法を日頃から頭と身体で学んでおかなければなりません。安全の反対は、危険ではなく無知であり、無意識だと言う言葉がありますがまさにそういったことを表しているかと考えます。是非、今日は皆さんでしっかりと対応方法をもう一度確認をいただき、安全にこの東京都の町を守っていきけるように再確認をいただきたい。今日は、最後まで安全な防災訓練の成功を祈っています。

2. 訓練実施状況

令和5年度 防災訓練進行表を以下に掲示します。

令和5年度訓練進行表

項 目			実施機関及び協力機関	実施時間	9	10	11	12	13	14	15	16
警備活動			東京都高圧ガス地域防災協議会 東京都環境局	9:30～16:50	←————→							
訓練準備			参加機関全員	9:30～13:15	←————→							
開 会 式			参加機関全員	13:30～13:40 (10分)					⇄			
I 実 験	1	アセチレン逆火阻止実験	一般ガス部会 中央支部 ＜協力＞日酸TANAKA㈱	13:45～14:00 (15分)					⇄			
	2	カートリッジ付燃焼破裂実験	L Pガス地域防災部会	14:00～14:15 (15分)					⇄			
	3	モニタリングガスの燃焼爆発実験	一般ガス部会 城南支部 ＜協力＞大陽日酸㈱、大陽日酸エンジニアリング㈱	14:15～14:30 (15分)					⇄			
II 基 礎 訓 練	1	酸素・窒素の物性の説明と各種実験	一般ガス部会 城東支部	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	2	アセチレンの物性説明並びに 消火及び漏えい処置訓練	一般ガス部会 城西支部 多摩支部 (協力機関) 深川消防署	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	3	塩素及びアンモニアの物性説明 並びに漏えい処置訓練	一般ガス部会 城北支部	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	4	応急救護訓練	L Pガス地域防災部会 (協力機関) 深川消防署	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	5	一酸化炭素ガス等測定訓練	L Pガス地域防災部会 ＜協力＞警備器工業会 (新コスモス電機㈱) (理研計器㈱)	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	6	容器バルブガス漏れ処置訓練	L Pガス地域防災部会	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	7	緊急収納容器へのガス容器収納訓練	L Pガス地域防災部会 ＜協力＞中国工業㈱	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	8	L Pガス容器漏れ防止訓練	L Pガス地域防災部会	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	9	消火訓練 (水消火器による消火訓練)	L Pガス地域防災部会 L Pガススタンド部会 (協力機関) 深川消防署	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	10	一次救命処置訓練	L Pガススタンド部会 (協力機関) 深川消防署	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	11	防毒衣、空気呼吸器の着脱訓練	冷凍部会 4支部 ＜協力＞興産松製作所	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	12	初期の救助訓練	冷凍部会 中央第一支部・中央第二支部	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	13	冷凍ガス漏えい処置訓練	冷凍部会 城南支部・多摩支部	14:35～15:05 (30分)						⇄		
	14	(常時展示) フロン排出抑制法・オゾン層保護に関するパネ ル展示及びフロン漏えい等に関する最新情報、 各種関連機器の展示	(一社) 東京都冷凍空調設備協会 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会 (一財) 日本冷凍・環境保全機構 ＜協力＞アサダ㈱、㈱FUSO、 ㈱イチネンTASCO	13:40～15:40 (120分)						⇄		
	15	(常時展示) 逆火防止弁等防災関連機器の展示	日酸TANAKA㈱	13:40～15:40 (120分)						⇄		
III 総 合 訓 練	1	L Pガス容器配達車両の事故処置訓練	L P地域防災協議会 (協力機関) 深川警察署 深川消防署	15:10～15:45 (35分)						⇄		
閉 会 式			参加機関全員	15:50～16:10 (20分)							⇄	

3. 訓練項目及び訓練内容

訓練では最初に3つの実験が実施されました。

I 実験

1. アセチレン逆火阻止実験

この実験は、酸素ガス・アセチレンガスの混合ガスがホース内で逆火して事故となる状況及び逆火防止器の効果を観察するもので、次の3つの実験が実施されました。

① ホース破裂実験

ホース (透明なホースを使用) 内を走る逆火の速度及びホースが破裂する様子を観察する。

② 逆火阻止実験

乾式安全器を用いて、逆火が阻止される様子及び容器側のホースが破裂しないことを確認する。

③ 逆火威力実験

水封式安全器を用いて、サッカーボールを高く打ち上げ、逆火の威力を観察する。

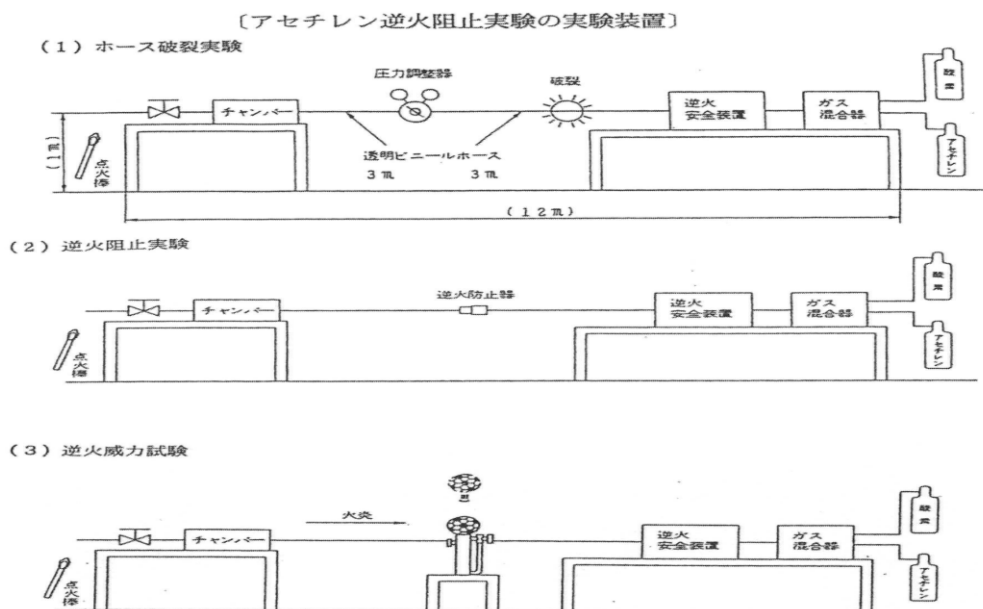


写真1 アセチレン逆火発生実験



写真2 アセチレン逆火阻止実験



写真3 アセチレン逆火威力実験

2. カートリッジ缶燃焼破裂実験

LPガスカートリッジ缶は、手軽にどこでも使用できる燃料として、一般家庭・飲食店の鍋料理やキャンプ等のレジャー用に広く普及している。また、一般家庭で使用されている殺虫剤、塗料、化粧品用のエアゾール缶等にも可燃性ガスが使われている。

残念なことに、缶に表示されている注意事項が守られず、カセットコンロの使用や廃棄時に爆発する事故が発生している。

このことから、LPガスカートリッジ缶が加熱された場合の爆発過程や破裂する状況を観察することにより、消費先で無造作にゴミとして捨てられる缶について、その危険性を注意喚起するための実験で、実験は、頑丈な金網で作られた実験用のケースの中にLPガスカートリッジ缶・殺虫用スプレー缶等をセットし、下部よりバーナーで加熱することで、爆発や火災の状況を観察する。

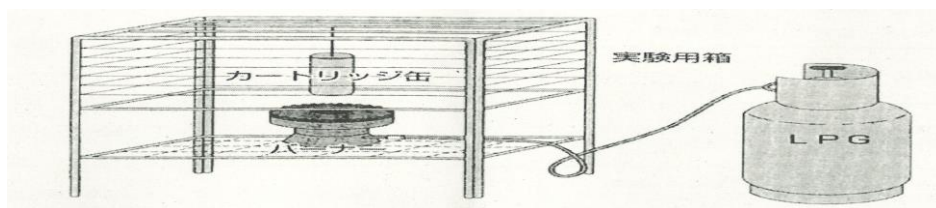


写真4 容量 100%カセット
コンロ用カートリッジ缶



写真5 使用済みカセット
コンロ用カートリッジ缶



写真6 容量 100%キャンプ用
カートリッジ缶

3. モノシランガスの燃焼爆発実験

モノシランガスは、空気中に漏えいすると自然発火し、また、密閉空間で空気と混合されると爆発的燃焼を起こす。この訓練では、次の実験を通して、爆発的燃焼の現象等を観察することを目的とする。

① モノシランガスの燃焼実験

モノシランガスを、配管を通じて空気中に漏えいさせ、自然発火する状況を観察する。

② 消火実験

①で燃焼しているモノシランガスが、消火器では消火できないことを確認する。

③ 爆発実験

風船内にモノシランガスを封入し、風船が破裂すると同時に爆発する状態を確認する。

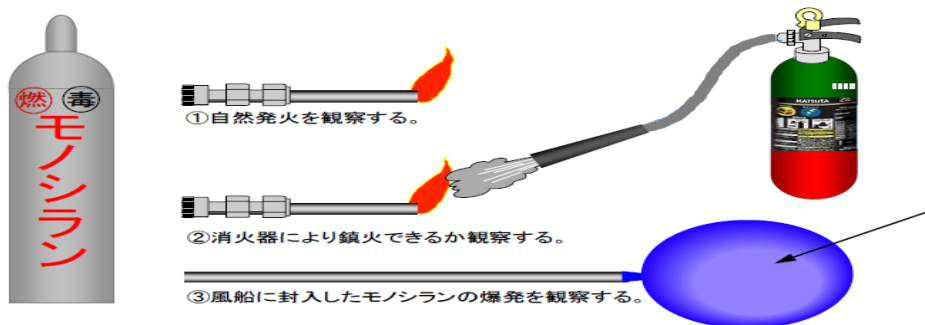


写真 7 燃焼実験



写真 8 消火実験



写真 9 爆発実験

Ⅱ 基礎訓練

1. 酸素・窒素の物性の説明と各種実験

【実施機関】一般ガス部会城東支部

- 【訓練内容】(1) 酸素・窒素の物性などの説明
(2) 酸素雰囲気中での燃焼実験
(3) 液化窒素を使った低温脆性破壊実験

2. アセチレンの物性説明並びに消火及び漏えい処置訓練

【実施機関】一般ガス部会城西支部、多摩支部、＜協力機関＞深川消防署

- 【訓練内容】(1) 溶解アセチレンの物性等についての説明
(2) アセチレンの消火訓練及び漏えい処置訓練
①バルブの閉止による消火訓練
②空気遮断による消火訓練
③消火器による消火及び漏えい処置訓練

3. 塩素及びアンモニアの物性説明並びに漏えい処置訓練

【実施機関】一般ガス部会城北支部

- 【訓練内容】(1) 塩素・アンモニアの物性と使用する防災資材及び保護具類の説明
(2) 塩素・アンモニア 50 kg容器バルブへの防災キャップ取付け訓練
(模範演技及び一般参加者による訓練)
事故想定：容器バルブが腐食し、塩素又はアンモニアが少々漏れた。
(3) 塩素 50 kg事故容器を収納器に収納する訓練（模範演技及び一般参加者による訓練）

4. 応急救護訓練

【実施機関】LPガス地域防災部会＜協力機関＞深川消防署

- 【訓練内容】深川消防署の指導により、ロープの結び方の訓練を行う。基本を学んで、災害時・緊急時のロープワークを習得する。

5. 一酸化炭素ガス等測定訓練

【実施機関】LPガス地域防災部会、＜協力＞警報器工業会

- 【訓練内容】メーカーの指導により、一酸化炭素測定器及び可燃性ガスの検知器の使用方法を習得する。

6. 容器バルブガス漏れ処置訓練

【実施機関】LPガス地域防災部会

- 【訓練内容】容器バルブからのガス漏れを想定し、ガスを遮断するために、防災キャップを確実に取り付ける訓練を行う。

7. 緊急収納容器へのガス容器収納訓練

【実施機関】LPガス地域防災部会＜協力＞中国工業（株）

- 【訓練内容】メーカーの指導により、ガス漏れを想定したLPガス容器をカプセルの容器（緊急収納容器）に収納する訓練を行う。

8. LPガス容器流出防止訓練

【実施機関】LPガス地域防災部会

- 【訓練内容】LPガス容器を水槽の水に入れ、浮かぶ状況を観察する。

9. 消火訓練（水消火器による消火訓練）

【実施機関】LPガス地域防災部会、LPガススタンド部会、＜協力機関＞深川消防署

- 【訓練内容】消防署の担当官から、消火器の種類、構造、取扱い方、消火方法等の指導を受ける。特殊バーナーにLPガスを送り、風土より点火し、水消火器を使用して消化訓練を行う。

10. 一次救命処置訓練

【実施機関】LPガススタンド部会、＜協力機関＞深川消防署

- 【訓練内容】深川消防署の担当者から事故・災害時等における一次救命処置の指導を受ける。

11. 防毒衣、空気呼吸器の着装訓練

【実施機関】 冷凍部会 4 支部、＜協力＞（株）重松製作所

【訓練内容】 4 支部指導員とメーカー保安機材担当者の指導を受け、毒性冷媒ガスの事故処理に不可欠である防毒衣・空気呼吸器の構造・装着方・管理方法等の説明を受け、正しく、迅速に装着できる陽に訓練し習得する。（空気呼吸器の装着訓練を実施する）

12. 初期の救助訓練

【実施機関】 冷凍部会 中央第一支部、中央第二支部

【訓練内容】 地下 1 階機械室内で、作業者がフルオロカーボンの冷凍装置を整備するため、脚立を使用し高所にある送液管のバルブ締め作業をしていたところ、フランジ部分から高圧の液が白煙を噴出し漏えいした。このため作業者は驚いてバランスを失い落下、腰を強打し動けなくなったことを想定。また、機械室内に設置してある酸素濃度測定器のフリップカバーが鳴動したため、それに気づいた保安責任者と機械係が機械を停止、指揮者、搬送車 2 名、補助員、負傷者の 5 名のチーム編成で役割を分担し、空気呼吸器を着装のうえ、担架により負傷者を迅速に搬送する訓練を行う。

13. 冷媒ガス漏えい処置訓練

【実施機関】 冷凍部会 城南支部、多摩支部

【訓練内容】 冷蔵室冷媒低圧配管のピンホール箇所からの冷媒ガス漏えいを想定し、指揮者、処置者 2 名、補助員 2 名の 5 名のチーム編成で役割を分担し、空気呼吸器を着装して、発電機、投光器を操作しながら、冷媒ガス漏えい部にバトン掛けを迅速に処置する訓練を行う。

【Ⅱ 基礎訓練の模様】



基礎訓練-1 酸素・窒素の物性の説明と各種実験

【一般ガス部会】



基礎訓練-2 アセチレンの物性説明並びに消火及び漏えい処置訓練

【一般ガス部会】



基礎訓練-3 塩素及びアンモニアの物性説明並びに漏えい処置訓練
【一般ガス部会】



基礎訓練-4 応急救護訓練
【LPガス地域防災部会】



基礎訓練-5 一酸化炭素ガス等測定訓練
【LPガス地域防災部会】



基礎訓練-6 容器バルブガス漏れ処置訓練
【LPガス緊急出動部会・LPガス地域防災部会】



基礎訓練-7 緊急収納容器へのガス容器収納訓練
【LPガス地域防災部会】



基礎訓練-8 LPガス容器流出防止訓練
【LPガス地域防災部会】

基礎訓練-9 消火訓練（水消火器による消火訓練）
【LPガス地域防災部会、LPガスタンダード部会】

基礎訓練-10 一次救命処置訓練
【LPガスタンダード部会】



基礎訓練-11 防毒衣・空気呼吸器の装着訓練
【冷凍部会】



基礎訓練-12 初期の救助訓練
（冷凍装置作業中の事故）
【冷凍部会】



基礎訓練-13 冷媒ガス漏えい処置訓練【冷凍部会】



基礎訓練-14
フロン排出抑制法・オゾン層保護に関するパネル展示及び
フロン漏えい等に関する最新情報、各種関連機器の展示
【東京都冷空環境協会/日本冷凍空調設備工業連合会/日本冷凍・環境保全機構】



基礎訓練-15
逆火防止等防災関連機器の展示
【日酸 TANAKA(株)】

Ⅲ 総合訓練

【L P ガス容器配送車両の事故処置訓練】

(L P ガス地域防災部会 <協力機関> 深川警察署、深川消防署)

【想定】

【事故の想定】

都道 319 号線江東区三好町の中華料理店「木場飯店」で配送員 A・B にて L P ガス容器交換中、後方から来た車両が、中華料理店付近に停車していた配送車両に追突。積載されていた 50 kg 容器 5 本が道路に落下し散乱、落下した容器のうち 3 本が落下した衝撃によりバルブが損傷しガスが漏洩。追突時の騒音で配送員は事故に気が付き事故状況を確認する。

配送員 A は落下した容器の回収及び漏洩した容器対応を行う。配送員 B は中華料理店の店主に状況を知らせ、火気の使用を中止してもらい、店のお客様の避難誘導をお願いする。

【訓練内容】

(1) 容器落下時の初期対応

- ① 配送員 A は落下・漏洩した容器対応及び周辺の安全確保。
- ② 配送員 B は、中華料理店の近くは交通量が多く、ガスが漏れていることから、被害の拡大が予想されるため、携帯電話で消防署、警察署に通報するとともに所属事業所に連絡し、防災事業所の応援要請と都庁への報告を依頼する。
- ③ 配送員 A は、転倒してガス漏れをしている容器を起そうとしたが危険なため、転倒していない容器を安全な場所に移動しようと 2 本目に取り掛かろうとしたとき、転倒している容器に何らかの原因で、引火、火災が発生。中華料理店に燃え広がらないよう火災の向きを変えようと作業を試みたが、うまくいかず店に延焼する。その際に火傷を負ったことに気付き、救急車の到着を待つ。
- ④ 配送員 B は、大声で付近住民に危険を知らせ、ロープで警戒区域を設定し、赤旗を掲げ安全地帯へ避難誘導をする。

(2) 消防署の活動

事故発生の通報と出動要請を受けた消防署は直ちに消防車、救急車で事故発生現場に出動する。
事故発生現場に到着後以下の作業を行う。

①消防隊長は運転手から、現状の報告を受ける。

ア・1名負傷者（配送助手）がいること。

イ・LPガス容器からのガス漏れがあり、引火・火炎により中華料理店に延焼したこと。

②消防隊長は、すぐさま負傷者の救護及び消火活動を開始するとともに火災警戒区域の設定を行う。

③火炎が噴出している容器の冷却を続け地域防災事業所保安要員の到着を待つ。

⑤消防隊長は、防災事業所の責任者に状況を説明し、容器の火炎消火後のバルブ閉鎖を要請する。

⑥消防隊長は隊員に建物の延焼阻止、LPガス容器の安全が確保出来たことを宣言し、撤収を指示すると同時に火災警戒区域の解除及び警戒中の警察官にこれを連絡する。

(3) 警察署の活動

事故発生の通報と応援要請をうけた警察署は直ちにパトロールカーで出動する。

事故発生現場に到着後以下の活動を行う。

①警察署員は現場の運転手から現在の処置状況の報告を受けた後、事故発生現場周辺の交通規制を開始するとともにパトロールカーによる広報活動を実施

②防災事業所からの緊急出動車両の先導要請を受けた隊員は、パトロールカーにより緊急出動車両を先導し、事故発生現場まで誘導する。※今回は①、②を一緒に行う。

③事故処理完了後、交通規制の解除及び付近住民に対し事故処理が完了した旨の警戒規制及び交通規制解除の広報活動を行う。（訓練会場を1周する）

(4) 防災事業所の活動

事故発生の通報と応援要請を受けた防災事業所の責任者及び保安要員4名は直ちに防災資材・保護具類を積載した車両で警察車両に誘導されて事故発生場所に出動し、現場にて以下の活動を行う。

①現場に到着した防災事業所の責任者は消防隊長の指示を受けて次の活動を行う。

ア.容器の火炎消火後のバルブの閉鎖を行う。

イ.保安要員は容器のガス漏れを止めるべき作業を試みるが、容器バルブの損傷が激しく、漏れが止まらないのでLPガス容器収納カプセルに容器ごと収納する。

ウ.保安要員は容器を収納したカプセルを車両に積み込み、ガス検知器で収納カプセル及び中華料理店周辺のガスの滞留の有無について点検を行う。

②保安要員は、防災事業所の責任者にガス漏れ容器を収納カプセルに収納し安全な場所へ移動したこと。周辺の滞留ガスの点検で異常がないことを報告する。

③責任者は消防隊長に安全の確認が出来たことを報告し訓練を終了する。



4. 閉会式

全ての訓練が終了後、防災訓練本部長である
の講評に続いて、次の来賓の方々からのご挨拶
関東東北産業保安監督部 企画調整官 和田 房
警視庁深川警察署 警備課長 久保木
東京消防庁深川消防署長 榎野 稔 様
最後に東京都高圧ガス地域防災協議会の尾崎 義美副会長から閉会の挨拶がありました。

講 評



【東京都環境局環境改善部 戸井崎 正巳 部長】

ご紹介いただきました東京都環境局環境改善部の戸井崎でございます。閉会にあたりまして、講評を述べさせていただきます。

本日の訓練は、事故もなく無事に予定の内容を終了いたしました。訓練に参加された皆様、本当にお疲れ様でございました。事前準備の段階から本日の訓練までご指導、ご協力をいただきました警視庁深川警察署、東京消防庁深川消防署の皆様に深く感謝を申し上げます。



また、関東東北産業保安監督部企画調整官の和田様、警視庁警備部災害対策課理事官の池田様、深川警察署警備課長の久保木様、深川消防署長の槇野様を始め、大変お忙しい中、ご来場いただきましたご来賓の皆様方にも厚く御礼を申し上げます。

それでは、本日の訓練について講評を申し上げます。

まず、アセチレン逆火阻止実験、カートリッジ缶燃焼破裂実験、モノシランガスの燃焼爆発実験が、高圧ガスの危険性を改めて認識することができたと思います。続きまして、基礎訓練でございますが、アセチレンガス、LPガスの消火や漏えい処置訓練や応急救護、救急処置訓練、一酸化炭素ガス等測定訓練、LPガス緊急収納容器へのガス容器収納訓練等が行われました。事故や災害発生時の処置が大変重要でございます。迅速かつ正確な情報収集を行い、事故の被害を最小限にする本日の基礎訓練が、そうした初期対応の手順を改めて確認するうえでも、大変有益なものであったと思います。

最後に、総合訓練を実施いたしました。LPガス容器配送車両の事故に対する実地訓練でございました。関係機関への通報、応援要請、救護、処置まで適切に行われました。災害が起きた時には、関係機関との連携が非常に重要だということを確認することができたと思います。本日の訓練では、いずれの訓練でも皆様は、真剣な態度で参加され、実りの多い訓練になったと思います。今後もこうした訓練を継続して実施いたしまして、高圧ガスの保安に努めていただきたいと思います。

今回の訓練は、600名という多くの方に参加お集まりいただきましたが、是非、本日お集りの皆さんが、各々の職場で保安の確保と防災力の向上に努め高圧ガスの保安活動におけるリーダーとして活躍していただけるようお願いを申し上げまして、私の講評とさせていただきます。本日は、大変お疲れ様でございました。

来賓のご挨拶

【経済産業省関東東北産業保安監督部長代理 和田 成弘 企画調整官】



ご紹介をいただきました、経済産業省関東東北産業保安監督部の和田と申します。閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、訓練に参加されました皆様方、大変お疲れ様でした。このように多くの方々が一堂に会し、お一人おひとりが、熱心に取り組まれ、事故対応の基本動作や、状況に応じた迅速、的確な行動を示していただきました。いずれのプログラムも、現実には起こりうる事故を想定して検討された実践的な内容であり、防災意識の高揚、緊急措置技術の向上、地域防災組織間および関係機関の連携強化など、本訓練の目的を十分に果たす内容であったと感じました。

さて、経済産業省では、例年のとおり、10月23日から29日の間、「高圧ガス保安活動促進週間」を実施しております。これは、高圧ガスの事故防止に向けた意識の高揚、知識、技術の啓発、教育、訓練による自主保安力の向上等、各地の実情に即した事業、行事等の取り組みを促進し、保安の確保に万全を期すものでございます。全国各地では自然災害を含め、種々の事故、災害が生じている現状がございます。

皆様方におかれましては、平時から保安に対する意識を高くお持ちいただき、いざという時のために本日の成果、そして持てる力量に更に磨きをかけ、これまで以上に高圧ガスの保安の確保、推進に御尽力、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、本訓練を主催された東京都ならびに東京都高圧ガス地域防災協議会の御尽力に敬意を表しまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

【警視庁深川警察署代理 久保木康弘 警備課長】

お疲れ様です。警視庁深川警察署で警備課長を務めております久保木と申します。ケースにより災害対策に関わる取り組みやまた、特殊詐欺対策等、警察業務の他分野に渡りましてご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日、高圧ガス防災訓練ということで、カートリッジ缶の燃焼破裂実験、また、LPガス容器の搬送過程における事案発生時の対処要領等、高圧ガスに関わることを考える多種多様な実験、訓練を行ったところであります。

高圧ガスにつきましては、言わずもがな利便性が高く、産業部門を初め、広く一般家庭にもわたり便利であるその一方で、事案が発生すれば、非常に大きな事案を招くという危険性もはらんでいる。こうした訓練を通じて、私自身、綺麗なものには、毒や棘があるというわけではありませんが、便利なものこそ、その注意事項やルールをしっかりと守り、それに従って適切に扱う必要があると再認識をしたところでございます。

また、訓練を実施いたしまして、関係機関、部署がそれぞれの役割等を再確認したところでございます。今後もこうした訓練を通して、警察におきましても、その対処能力に、更に磨きをかけていきたいと思うところでございます。簡単でございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日、訓練に参加された方々大変お疲れ様でした。



【東京消防庁深川消防署 榎野 稔 署長】

深川消防庁の榎野でございます。緊急事態発生時には、三つの危険を考えて活動していただきたいと思います。

一つ目は、人命危険です。二つ目は、この被害がどのように拡大していくかということを考えながら活動する拡大危険になります。

三つ目は、作業危険になります。この被害が広がっていくその先どうやってこの被害を治めるかというために動く時にどんな危険が潜んでいるか、この三つの危険を勘案して活動することが肝要かと思えます。訓練大変お疲れ様でした。

閉会挨拶

【東京都高圧ガス地域防災協議会 尾崎義美 副会長】

只今、ご紹介いただきました東京都LPガス協会の会長を仰せつかっております尾崎と申します。本日は、本当にご苦労様です。同時に昨日の準備から今日のお片付けまで、最後までしっかりと事故が無いようにお願いしたいと思います。

また、私たちにおけるLPガス、そして酸素、水素を始めてとする高圧ガスは、2050年のカーボンニュートラルを迎えるとはいえ、液体燃料に代わるエネルギーとして非常に大切な地位が予想されており、お客様、消費者にとっても本当に大事なガスだと思えます。クリーンでございますからLPガスは、特に災害に強いということで、これから今日の訓練を糧にしっかりと事故の無いようにしていっていただきたいと思います。

今日の訓練は、ほんの一部の想定に過ぎないと思いますので、おそらく想定内のことが起こるというのが災害だと思っております。想定外の想定をし、今日の訓練を基に自分の事業所が、実際に事故や災害が起こった場合どう対処したらいいのか、一人ひとりが事業所に帰りまして、しっかりと今日のおさらいをしていただきたいと思います。

※ご来賓の祝辞、講評、挨拶などの文責は、会報編集人にあることを申し添えます。

